



題字 小川 東州

JICA 社団法人日本産業カウンセラー協会北海道支部

〒060-0807 札幌市北区北7条西5丁目6-1 ストークマンション札幌308号
TEL&FAX 011-736-2333 ホームページ <http://www.do-counselor.jp>

養成講座終了

今春、4月6日(日)に66名でスタートした平成20年度産業カウンセラー養成講座は、11月1日(土)に約7ヶ月間、ホームワークを含む延べ169時間の全カリキュラムを終え、無事修了式を迎えることができました。

修了式では、桑原支部長より受講者お一人お一人に「お疲れさまでした。」と声をかけ修了証が手渡され、受講者のみなさまの表情からは、達成感・安堵感や4月からのことをあじわっているように感じました。それらのことを思い起こされ、笑顔や目を潤ませていた方もおられたようです。

会場をあとにする前に実技指導者を交えて記念写真を撮っているグループもあり、仲間同士の絆のほかに受講者と実技指導者との絆を感じました。週末を返上しての約7ヶ月の受講は、自分と向き合う辛さや苦しさ、仕事や家庭との両立などで途中「やめたい。」と思われた方もいらしたと思います。しかし、最後にこのような光景を目の当たりにすると、お互いが支えあって過ごしてきたことを改めて感じ、このような場に居合わせることができたことを幸せに感じました。

養成講座は終了しましたが、年明け早々には試験が控えています。今年からテキストの



修了書授与の様子

ページ数が増え、資料編も充実していることから、試験準備には苦労されることと思います。

季節は寒さに向かいますが、体調管理にも気を配り、悔いが残らないように頑張ってくださいと思います。春以降にシニア講座や支部の活動でみなさまにお目にかかれる仲間が増えることを楽しみにしています。

「働く人の電話相談室」 実施報告



北海道支部では「働く人の電話相談室」を9月10日から12日までの3日間、10時から22時まで開設いたしました。昨年度は7日間でしたが、日程を短縮し開設時間を延ばすことにより昨年度より多くの方（44名）にご利用いただきましたのでご報告いたします。

■実施の背景

自殺者が年間3万人を超える状態が続いていることなどから、昨年同様、9月10日の「世界自殺予防デー」を中心に日本産業カウンセラー協会と日本労働組合総連合会の共同の取り組みで、社会にアピールするものです。

■実施状況

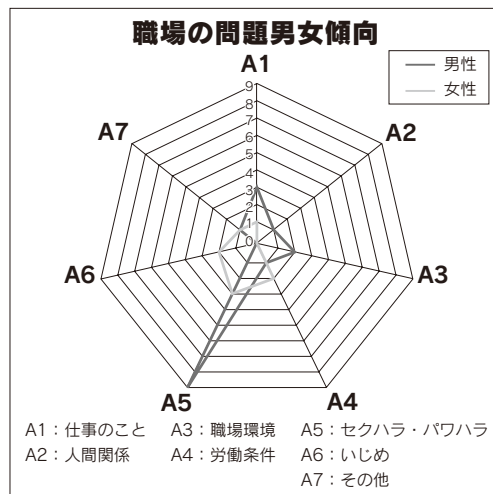
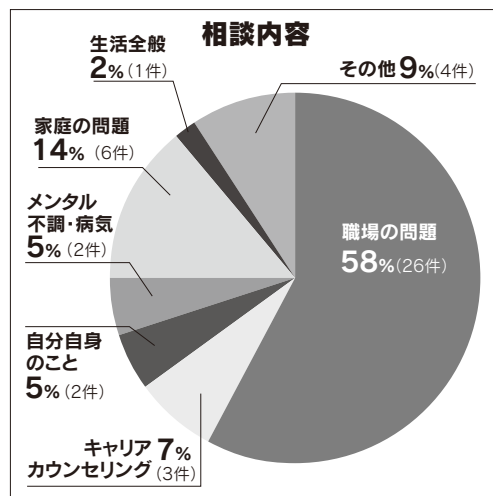
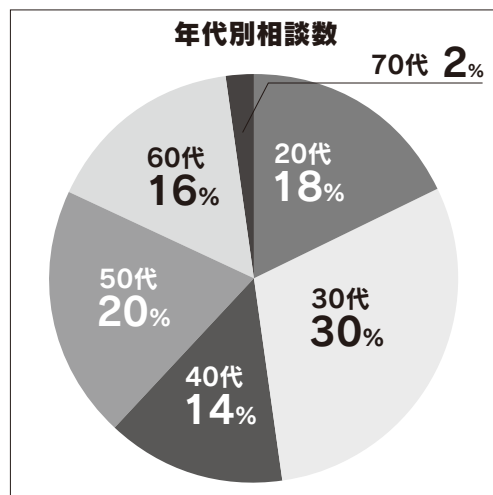
支部では新たな電話回線を設定。ホームページ・新聞・パンフレットなどでPRし、支部認定カウンセラー14名が待機しました。

10日10時の開始時間を待っていたかのように電話が鳴りやまず「やっとつながった」という声もあり、期待に応えようと一生懸命耳を傾けました。

年代別では30代、50代、20代が、相談内容別では「職場の問題」「家庭の問題」が多く、特に「職場の問題」ではセクハラ・パワハラについて男性からの相談が目立ちました。

危機介入を要する事態はありませんでしたが、諸機関の連絡先をお伝えする事がありました。

私が担当した方は、職場で嫌な目にあっていることを吐き出すように語られた後、落ち着いた口調に



電話相談の様子

戻り自分以外の労働者の置かれている状況にも心を留められ、この企画を通して国に労働者の声が届きますようにと話されました。

■今後に向けて

このように話された方々の声を受け止め、どのように行動できるのか、産業カウンセラー協会本部では全国の相談結果を受けて次のようにコメントをしました。(原専務理事のコメントより一部抜粋)

■カウンセリングの普及に向けた啓発活動を継続



「自殺防止対策が重要な社会問題となってきたが、5,000万人を超える勤労者の日常生活の中で、自分の力だけではどうすることもできない力によって苦しめられるという現状はぜひとも解決していかねばならない。産業カウンセラーはこうした現状を直視し、雇用されている人々の環境を改善することにもいっそう役割を果たしてゆきたい。」

北海道支部におきましても今までの実績を基にさらに社会に働きかけができる産業カウンセラーを目指して行きたいと考えております。今後とも宜しく願います。

相談事業部 清水良子



シニア研修 「ライフサイクルと発達課題」を受講して

9月13日シニア講座「ライフサイクルと発達課題」を受講しました。講師は、北星学園大学教授の清水信介先生で行われました。今回の受講目的として自分の歴史を分析する事、仕事上(看護師)においての知識を深めることが出来る等と考え受講しました。

講義内容としてエリクソンの発達理論を中心に臨床事例も併せて解説がされました。エリクソンの理論は思春期以降が細分化されて、人間の生涯にわたっての発達をとらえる視点が明確であり「ライフサイクル論」と呼ばれ、ライフサイクルを八段階に区別し各段階にはそれぞれ固有の発達課題があるとされています。発達課題の中で特に乳幼児期から思春期の段階では、いかに親の役割が重要であり人間の心理面に影響が大きいかを痛感し学ばされました。又青年期の同一性形成については、私自身の事を振り返っても難しい段階だと考えます。壮年期はユングが提唱する「人生後半の課題」があり私の課題としても考えていきたいと思えます。

清水先生の講義は受講者からの質問を取り入れながら、ゆったりとした優しさに満ちたお話で、多くを学びとても有意義でした。(Y.S)



シニア研修「アセスメント」を受講して



講習中の森先生

9月14日（日）かでの27にてシニア研修「アセスメント」を受講。講師は北海道医療大学の森伸幸先生。「連休中なのにみなさんまじめな方ばかりで…」という桑原支部長のご挨拶で始まったこの日の講座、カウンセリングを実際に行っている先生のお話は説得力があり「受講して本当に良かった」と感じている。クライアントの中には手強い方もいて、クライアント自身のためのツールとして、アセスメントを使用することが多い私には「カウンセリングに検査はそぐわない」との言葉にドキッとしたり、

カウンセリングに劇的な結果を期待するクライアントに「診断や治療は医療行為でカウンセラーの範疇外」と説明していた事が間違いではなかった事にホッとしたり。又、パーソナリティ障害の説明で「障害という言葉の持つイメージ」に対する先生の考え方の中に、クライアントへの優しさを感じたり。途中、参加者自身のパーソナリティ検査と分析もあり、なるほど・確かに・そうなんだ、と感じたことの多い一日だった。（青盛 眞知子）



会員研修

「認知行動療法概論（旭川）」を受講して

産業カウンセラー養成講座を終了し、資格取得から早9年。自分なりに研鑽を重ね、心理臨床に関わりながらも、学んだ事をいかに教育現場へ応用するか試み進んできました。何年か前に坂野先生のお話をお聞きしたことがあったので、今回の「認知行動療法概論」は知識の整理が出来ればと思い参加したはずだったのですが、改めてお話を聞きすると内容がとても新鮮で刺激的でした。認知行動療法の考え方を学ぶ中で「スモールステップで考えよう」「良い所を積極的に増やしていこう」など教育現場への示唆も多く、日頃出来ていると思っただけで、実際には出来ていなかった事が多くある事に気付かされました。早速、改めて意識しながらの実践を始めています。

また、今まで無知だったパニック障害についての正しい理解もできました。

3時間があっという間で「もっと詳しく聞いてみたい、ここはどうなんだろう」という疑問も湧いてきて、もっと時間が長ければ良いのにとの思いを持ちながら講座が終了しました。講座終了後には、旭川で定期的に勉強会をしているので参加しませんかとお声をかけていただく事もあり嬉しく思いました。

是非、お仲間に入れていただきたいと思っています。このような会員同士の輪が広がることも、私にとっては会員研修の大きな意義の一つです。次回の「ステップアップ講座」も楽しみです。（野崎 徹）



会員研修 「カウンセリングとユング心理学（Ⅲ）」 を受講して

10月14日、札幌のしんきん健保会館で開催された清水信介先生の「カウンセリングとユング心理学」を受講しました。今回で3回目の受講になります。あと1回、12月の受講で終了です。

私は昔、フロイトやユングの深層心理学をベースとした著書「心理的安全学のすすめ…無意識を意識する安全管理…」を出版しています。また、カルチャー教室などで、フロイトやユングの話をすることもあります。ユングは易をするというので、易経の勉強をしたこともあります。ただ、深層心理学については理解しているつもりでも、何かスッキリしていないことも多々あります。特にユング心理学の「元型」と「マンダラ」がその代表選手です。今回の会員研修を受講した目的はこれらをよく理解しようとするところにありました。

清水先生の講義を聴く中で、今までスッキリしていなかったことが、完全といえないまでも、ハッキリの方に代わっていくを感じているところです。（帯広：佐藤文彦）

No.04

レディネス通信

4月から始まった、支部認定カウンセラー育成研修（通称レディネス20）も、この9月には第5回目の講義と面接実習が実施され、研修生の熱心な質疑に熱く応答する篠原先生、気がついた時には講義時間を軽くオーバー、という場面もありましたが、今回も多くのことを学ばせていただき、有意義な研修になりました。

8月の中間審査研修で各自の逐語記録を検討し、篠原先生の講義も、カウンセリングの心構えや準備段階から始まり何回かの面接を経て終結にいたる、その全過程を見渡せるところまで進んできています。その中で見えてきた自分の課題や不足している部分とどう向き合うか、これからが一番大切な時期かなと感じています。率直に指摘してくれたり、意見を言ってくれたり、励ましてくれる仲間や指導者の方々と共に成長できる素晴らしい環境に感謝しています。（堀 淳博）

事務局よりお知らせ

最近会員のみなさまより、シニア研修、会員研修の申込用紙のお問い合わせを多くいただきます。北海道支部のHP等でもご案内させていただいておりますが、今回、各申込用紙を同封することにいたしました。保管していただき都度コピーしてご利用いただければと思います。宜しく願いいたします。

支部認定講師事前研修Ⅰ、Ⅱ受講者 募集についてのお知らせ

支部認定講師事前研修受講希望の皆様、既に北海道支部ロードマップを熟読されてるものと思
いますが、念のため、支部認定講師へのロードマップの概略をご紹介します。

《支部認定講師ロードマップ》

産業カウンセラー資格取得
支部会員

協会本部主催 向上訓練
(演習Ⅰ、演習Ⅱ) 受講修了

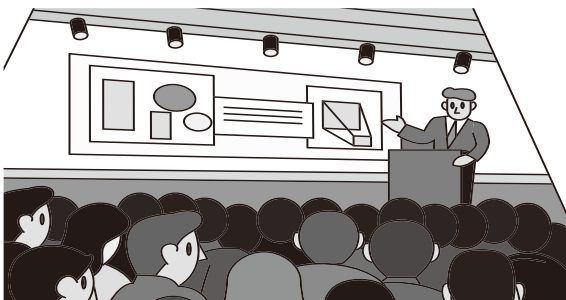
又は、シニアコース講座逐語検討1、2受
講修了、(今後受講予定の方も可) 及び、
向上訓練 C2 又はシニアコース K0400 (職
場のメンタルヘルス) 受講が望ましい。

支部認定講師希望

事前研修Ⅰ 申込書提出
(詳細は同封募集要項に記載)

今回の募集はここです

支部認定講師事前研修Ⅰ受講



支部認定講師事前研修Ⅱ
申込書提出

指定レポートの提出必要

支部認定講師事前研修Ⅱ受講

一日目 3時間程度の講義ができるような
質、量の講義を受ける。(09年2
月予定) 終了時2日目のプレゼン
に使用する資料を提示いたします。
その資料を基に2日目のプレゼン
審査に望んでいただきます。

二日目 15分のプレゼン審査実施
(09年3月予定)

審査、判定

合格者は、先輩講師を囲む勉強会に参加して
いただきます。月一回のペースで6ヶ月程度
を予定しております。(ただし、合格し、勉
強会に参加されても、認定講師として活躍で
きるとは限りません。)

アシスタント、サブ講師の経験

審査、判定

支部幹部会承認

支部長委嘱

支部認定講師

研修に参加してきました

秋も深まってまいりました。いかがお過ごしですか？ 先日、「カウンセラーのためのNLP」という研修会に参加しました。NLPというのは「神経言語プログラミング」と訳されるようで、最近ビジネスや教育・医療の場面で実践されているもののようです。NLPの成り立ちの説明で、不勉強な私でも知っている「家族療法」「ゲシュタルト療法」の名前が出て少し身近に感じました。カウンセラーのためのというのは、会話術とでもいうのでしょうか「メタモデル」と「逆メタモデル」のパターンと質問例でした。（メタボみたいで笑っちゃいましたけど…）

例えば、メタモデル：「みんながそうっています」という発言に対して、こちらから「省略されている部分」を引き出す質問を投げかけます。⇒「みんなとは誰ですか？」「具体的にどう言っているのですか？」これをラポールを維持しながら詰問にならないように行うというものです。逆メタモデル：こちらから曖昧さの残る問いかけをし、受け手がイメージを自ら補うようにもっていく。例えば、「あなたは更に上のステップへ進むことができるでしょう」など。2日間で4時間ほどの短い時間でしたが、「言葉の持つ力」を改めて感じました。使い方を間違えると大変だと痛感した研修でした。

最後に講師の方が物語を読んでくださいました。「寓話セラピー」の中にある「サーカスのゾウ」の話です。聴いていると胸が痛くなりました。興味のあるかたは、ぜひお読みください。



ホルヘ・ブカイ 著
麓 愛弓 翻訳
めるくまー出版

◆関連団体の情報コーナー◆

◎日本産業ストレス学会

第16回日本産業ストレス学会が12月5、6日東京大学本郷キャンパスにて開催されます。

テーマ「産業ストレス対策の国際標準」

進む欧州、WHOの産業ストレス対策戦略、これからの産業ストレス対策の国際標準はどこに向かうのか、アジア及びわが国における産業ストレスはどうあるべきか等、講演や対談、シンポジウムが行われます。

詳細は日本産業ストレス学会HP <http://www.jstress.net> をごらんください。

産業カウンセラー養成講座 実技指導者インターン 事前研修受講者募集についてのお知らせ

支部では将来、実技指導者として活動の場を実現していただくために、インターン事前研修受講者を広く求めています。平成21年度産業カウンセラー養成講座は、主に土曜・日曜に開講する予定です。養成講座を支える実技指導者を目指し、一緒に学んでみませんか？

応募資格、インターン登用については、同封しました募集案内をご覧ください。

行事等のお知らせ

研 修

シニア研修

「逐語検討1」(M1710)

日 時：11月22日(土)・23日(日)
場 所：かでの2.7
講 師：古谷 圭子 (当協会会員講師)
 桑原 富美恵 (当協会会員講師)
定 員：20名
受講費用：26,000円
申込締切：11月7日 (終了しました)

「逐語検討2」(M1720)

日 時：1月17日(土)・18日(日)
場 所：かでの2.7
講 師：森川 千鶴子 (当協会会員講師)
 桑原 富美恵 (当協会会員講師)
定 員：20名
受講費用：26,000円
申込締切：2008/12/26(金)

会 員 研 修

「カウンセリングとユング心理学 (IV)」 4回シリーズ

日 時：12月9日(火)18：30～20：30
場 所：かでの2.7 (1040号室)
講 師：清水信介 (北星学園大学教授)
定 員：定員 40名
受講費用：1,000円
申込締切：11月28日(金)

「傾聴トレーニング研修II (旭川市)」

対 象 者：産業カウンセラー協会会員
日 時：11月26日(水)18：30～20：30
場 所：旭川ときわ市民ホール
 (研修室301)
研修担当：養成講座実技指導者
定 員：20名
受講費用：1,500円
申込締切：11月14日(金)

「傾聴トレーニング研修I (札幌市)」

対 象 者：産業カウンセラー協会会員
日 時：12月10日(水)18：30～20：30
場 所：かでの2.7 (550会議室)
研修担当：養成講座実技指導者
定 員：20名
受講費用：1,500円
申込締切：12月1日(月)

「傾聴トレーニング研修II (札幌市)」

対 象 者：産業カウンセラー協会会員
日 時：1月15日(木)18：30～20：30
場 所：かでの2.7 (550会議室)
研修担当：養成講座実技指導者
定 員：20名
受講費用：1,500円
申込締切：1月8日(木)

編 集 後 記

何人かの会員様より、研修等の申込のとき必要な口座のお問い合わせを頂きました。
今回同封した申し込み用紙にも記載されていますが、改めてご連絡させていただきます。
今後は行事予定のページに毎回載せていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

申込先 (社)日本産業カウンセラー協会北海道支部
札幌市北区北7条西5丁目6-1-308
電話・Fax：011-736-2333

振込先 郵便振替 02700-9-1731
(社)日本産業カウンセラー協会北海道支部